

最先端技術 RTK-GNSS※によって 数cm単位の精度の 位置情報を取得



- ・移動局（作業機）は、衛星（GNSS）から受信する位置情報と、固定基地局や電子基準点から受信する補正情報の2つの電波で高精度に位置を求めています。
- ・補正情報の取得方法は、固定基地局のデータを利用するRRS方式と、複数の電子基準点情報から移動局の近くに仮想基準点を作成し利用するVRS方式があります。

※位置情報の取得方式には、GNSS（GPS・GLONASS等）と静止衛星（MSAS）からの補正情報で位置を求めるD-GNSS方式もあります。
※衛星電波の受信条件（天候や大気の状態、周囲の地形・建物、衛星の数や配置、時間帯等）により自動操舵の精度が低下したり、自動操舵が使用できない場合があります。

■ 補正情報の取得方法

補正情報	通信方式	通信機器	使用条件
固定基地局 RRS	固定基地局のデータを利用。 ・国土地理院が管理する、全国約1,300カ所に設置されたGNSS連続観測点「電子基準点」 ・地方自治体、JAなどが設置した独自基地局 ・電気通信事業者が設置した独自基地局	デジタル簡易無線	固定基地局より約5km以内
		スマートフォン +Ntripアプリ	回線通信エリア圏内 固定基地局から約10km以内
		専用受信端末	
電子基準点 VRS	仮想基準点方式と呼ばれ、複数の電子基準点の観測データから、測量現場のごく近くにあなたも基準点があるかのような状態（仮想基準点）をつくり出す技術。	スマートフォン +Ntripアプリ 専用受信端末 Ntrip	回線通信エリア圏内

●補正情報サービスには、別途、通信機器代・通信費・利用料がかかります。

スマートアシストリモートについて 2021年4月以降に改定された利用約款を用いたスマートアシストリモートに関わる契約は2020年3月に策定された農林水産省「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」に準拠しています。（「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」の詳細は、農林水産省ホームページをご参照ください。）

ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com

⚠ 安全に関するご注意

- ・ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- ・故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- ・保証書はご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ…

このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。



スマート農業総合カタログ

Ⅰ 直進アシストコンバイン



Ⅰ ロボット / オートトラクター



Ⅰ 直進アシストトラクター



Ⅰ ラジコン草刈機



Ⅰ GNSS 衛星測位システム



Ⅰ 直進アシスト田植機



Ⅰ オートコンバイン



次世代の農業を拓く テクノロジー

農業を食農産業へ

限りある耕作地面積。

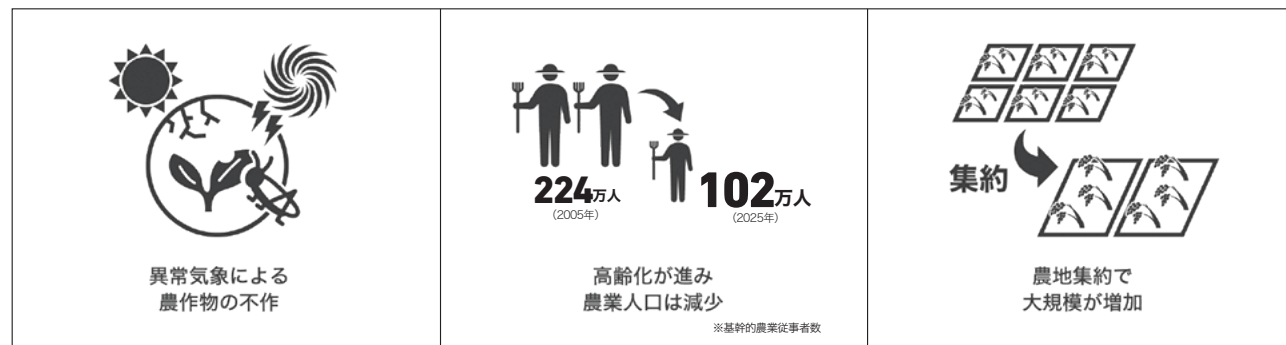
人口増加により高まる食料需給。

減少する農業人口。

ヤンマーは、これまでの機械化・省力化技術に加え
スマートアシストなどのICTを活用したテクノロジーを集結し、
持続可能な農業をめざします。

スマート農業が推進される背景

農業を取り巻く環境は刻々と変化し、世界規模で様々な課題に直面しています。

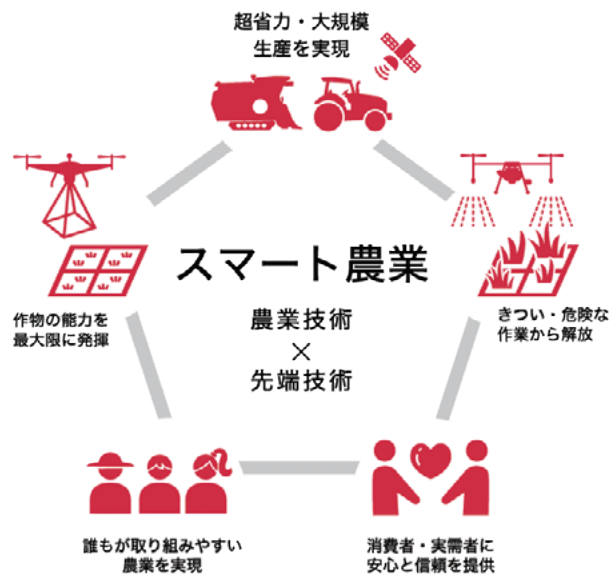


国連によると、2050年の世界の人口は、97億人まで増加する見込みで、それに伴う食糧不足の問題が懸念されています。また、近年の異常気象による農作物の不作が世界各地で報告されており、気候の変動は作物の生育に影響を与え、適期作業のタイミングが難しくなっています。また日本農業においても、高齢化や後継者不足が進み、離農が増加することで耕作放棄地が拡大し、農業生産量は減少傾向にあります。そんな中、平均経営耕地面積の大規模化など、いま農業を取り巻く環境は、世界規模で課題が山積みとなっています。この危機的状況を打破するため、ここ近年では、ロボット技術やICT等の先端技術を活用した「スマート農業」の導入に期待が高まっており注目を集めています。

※出典：国連「World Population Prospects: The 2015 Revision」を基に農林水産省で作成、農林水産省「2050年における世界の食糧需給の見通し」、農研機構「気候変動への適応技術としての全休作物収量予測」、農林水産省「農政をめぐる情勢について」、農林業ササセ、農業構造動態調査（農林水産省統計部）

スマート農業を導入するメリット

日本の農業が抱える様々な課題。その解決策の一手となるのが「スマート農業」です。



- | | |
|------------------|---|
| メリット
1 | 農家の高齢化による、
深刻な労働力不足の改善が期待できます。 |
| メリット
2 | 農作業の省力化・高能率化・高精度化を実現し、
営農コストの低減を図ります。 |
| メリット
3 | 新規就農者へ、
栽培技術の継続的な継承ができます。 |
| メリット
4 | データの蓄積により、
栽培計画や人材育成へ活用できます。 |
| メリット
5 | オペレーターの熟練度に関わらず、高精度な
作業をできるため適期作業が行いやすくなります。 |

ヤンマーが提供するスマート農業

もっと省力化！もっと高能率化！もっと高精度化！

「自動化」「ロボット化」「見える化によるほ場管理」をご提案

ヤンマーは最先端の農業機械とサービスで、省力化・高能率化・高精度化を実現、
日本の農業が直面する労働力不足やコスト削減、生産技術の伝承、大規模化などの課題を解決したいと考えています。

土づくり 可変施肥ブロードキャスト MGC201PN / MGC301PN MGC401PN / MGC603PN MGC1203PN MGC603WN / MGC1203WN 4P ▶	土づくり SMARTPILOT SA ロボットトラクター・オートトラクター YT488R / YT498R YT4104R / YT5114R 4P ▶	土づくり SMARTPILOT SA 直進アシストトラクター YT120 / YT122 / YT225A / YT233A(J) YT330R(J) / YT333R(J) / YT338R(J) / YT345R(J) YT352RJ / YT357RJ / YT460A / YT465A / YT472A YT488S / YT498S / YT4104S / YT5114S 5P ▶	土づくり GNSS ガイダンスシステム 自動操舵システム ヤンマー補正情報サービス Y-POINT 11P ▶
---	---	--	---

乾燥・調製

スマートアシストリモート
乾燥機連携ユニット
PHKIT.DRY(2)
12P ▶

SMARTPILOT SMARTPILOT®（スマートパイロット）は、位置情報やロボット技術などのICTを活用して農作業の省力化・効率化、高精度化を実現する自動運転技術を搭載した農業機械シリーズの総称です。

**播種・移植**

SMARTPILOT **SA**
直進アシスト田植機
YR5DA / YR6DA
YR7DA / YR8DA
+ 密苗 + スマート施肥
※YR5DAはディーラーオプション 7P ▶**播種・移植**

SMARTPILOT
乗用全自動野菜移植機
直進アシスト仕様
PW200R シリーズ
13 ▶**収穫**

SMARTPILOT **SA**
オートコンバイン
YH1170 / YH6115 / YH6135 / YH7135
直進アシストコンバイン
YH1170
8-9P ▶**収穫**

情報支援機能付コンバイン
YH471A / YH571A / YH5101A
YH6101 / YH6115 / YH6135
YH7135 / YH1170
9P ▶**管理**

農業散布用ドローン
産業用マルチローター
T10 / T25 / T25P
T70P
14P ▶**管理**

産業用無人ヘリコプター
YF390AX.TA / AP
14P ▶**管理**

ラジコン草刈機
YW500RC.A
YW500RC.AE
12P ▶**管理**

ほ場・ハウス管理
省力化システム
水田ファーム
ハウスファーム
14P ▶

オペレータの負担を軽減し、
大幅な省力化ができる

ロボットトラクター 無人 オートトラクター 有人

SMARTPILOT



機能解説動画が
ご覧になれます。

YT488R 88PS | YT498R 98PS | YT4104R 104PS | YT5114R 114PS



■ ロボットトラクター

人が乗車することなく、近距離監視のもとタブレットひとつで作業をコントロール。有人機と合わせて、2つの作業をひとりで同時に行えます。また、作業開始・停止・再開は約400～500m離れた位置からリモコンで遠隔操作できます。



■ オートトラクター

旋回や車速・エンジン回転の調整も自動で行い、搭乗者は緊急時のブレーキ操作のみ。誰でも熟練者並みの作業ができ、長時間作業の疲労を軽減します。



自動で直進できるから、
誰でも簡単、まっすぐ作業ができる！
直進アシストトラクター 有人

SMARTPILOT



機能解説動画が
ご覧になれます。

YT120 20PS	YT122 22PS	
YT225A 25PS	YT233A(J) 33PS	
YT330R(J) 30PS	YT333R(J) 33PS	YT338R(J) 38PS
YT345R(J) 45PS	YT352RJ 52PS	YT357RJ 57PS
YT460A 60PS	YT465A 65PS	YT472A 72PS
YT488S 88PS	YT498S 98PS	
YT4104S 104PS	YT5114S 114PS	



■ より高精度に作業できる！ RTKアップグレードキット(オプション※)

誤差±2～3cmの高精度作業が可能。作業速度は0.1km/h～の低速作業が行えます。
※YT4S/5Sの直進アシスト仕様はRTK-GNSS標準搭載です。

■ ムダ・ムラを省いて効率アップ

作業に応じて作業幅、ラップ幅の設定が可能。モニターに表示された経路に応じて作業をすれば、重複作業や未耕地を減らして、効率上がり、ムダ・ムラも防止できます。



うね立て作業
まっすぐ等間隔に
うね立てができます。



耕うん作業
ラップ幅を最小限
にして能率の良い
作業ができます。



肥料散布作業
散布の重複や未散布などムダ・ムラを
防止できます。



心土破碎作業
自動で設定通りの
等間隔で作業が
できます。

1枚のほ場の9割^{※1} を自動で作業できる

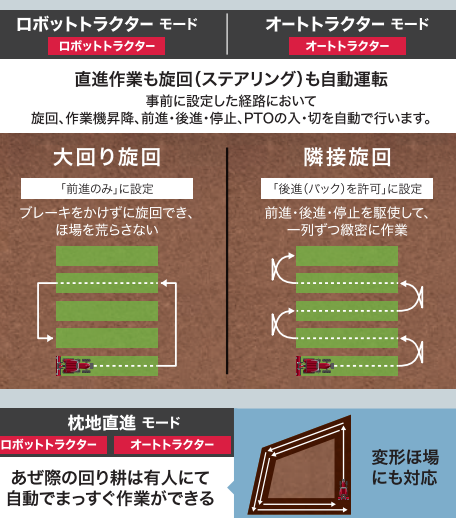
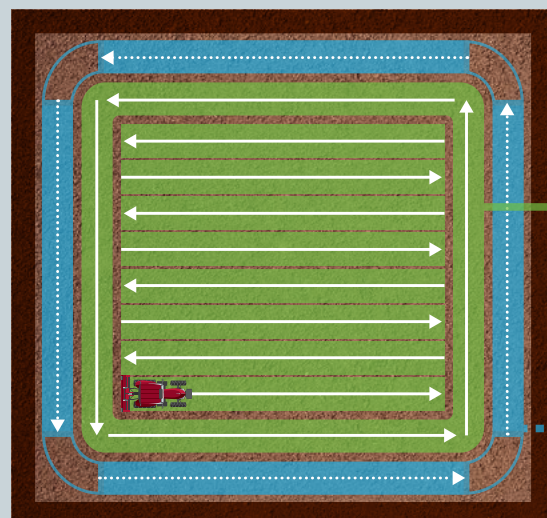
あぜ際の1～3周^{※2}を除き、ほ場の最大約9割を自動で作業。隣接耕、飛ばし耕、枕地耕うんも可能で、あぜ際も枕地直進モードを使えば省力化が図れます。

※1 ヤンマー調べ。ほ場面積0.92ha(122×76m)/ロータリー2.4m

※2 ほ場条件により異なります。



機能解説動画が
ご覧になれます。



操作が簡単、まっすぐ作業

直進時はハンドル操作が不要なため、作業状況を確認しながらゆとりを持って作業が行えます。旋回時の操作はハンドルを切るだけ。自動で直進がOFFになり、作業機も自動で上がります。旋回後は作業機昇降スイッチを下げるだけで、自動で直進アシストがONになります。



機能解説動画が
ご覧になれます。



密苗×ICTで労力もコストも最小に

“高精度”な作業がこんなに「ラク」になる。

田植えのイメージを一新する、YR-DAシリーズ。

“密苗”を中心としたヤンマー独自の技術で、余分な作業やコストを大幅に削減。
さらにICTで、田植えが不慣れな方には扱いやすく、熟練者には長時間作業でも疲れにくい操作へ。
安定した植付けでキレイな仕上がり、そして誰にでも使いやすく効率の良い作業を実現します。



SMARTPILOT



機能解説動画が
ご覧になれます。

自動で誰でも正確に直進 直進アシスト田植機 有人

YR5DA 5条植え | **YR6DA** 6条植え | **YR7DA** 7条植え | **YR8DA** 8条植え

※YR5DAはディーラーオプション



デジタル設定で簡単精密施肥 スマート施肥田植機 YR8DA,VTD

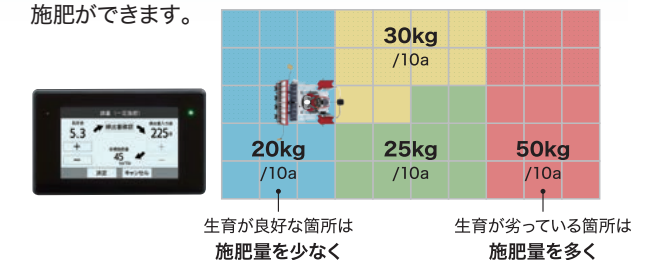
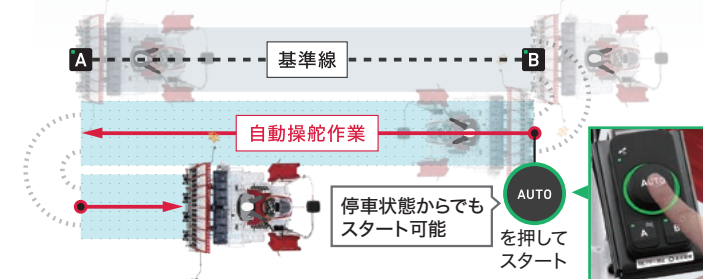


タッチパネルで施肥量を簡単に調整
でき、肥料の使い分けでも再現性が
高い作業ができます。パソコンで施肥
マップを作成しそのデータに基づき、
ほ場内の各地点の地力に応じた可変
施肥ができます。



直進アシスト機能【自動直進】

基準線を登録すれば、次工程からはスイッチ1つで基準線に沿って
自動で直進し植付けを行います。直進を保つためのハンドル操作が
不要になるので、ラクに正確な植付けができます。



直進アシスト田植機と密苗で、さらなる省力化・コストダウンを実現

ヤンマーの 密苗



解説動画が
ご覧になれます。

苗箱当たり乾籾250～300gと高密度
に播種し、ヤンマー独自の新技术で慣行
同様に3～5本ずつ抜き取り移植。
これにより使用する苗箱数が減り、育苗
コストや管理・移植作業の労力を削減
できます。



苗箱数
最大 **1/3** に
4,500枚 ▶ 1,500枚
(育苗ハウス: 9棟 ▶ 3棟)



育苗資材費
最大 **1/2** に
145万円 ▶ 67万円
(苗箱、培土、ハウス資材)



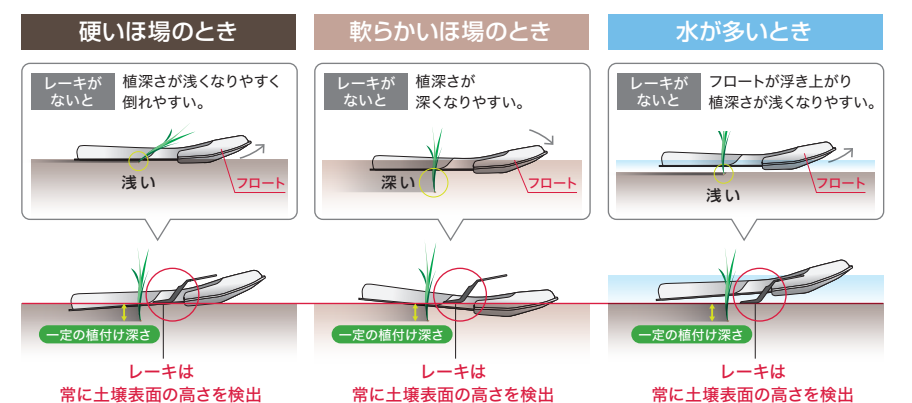
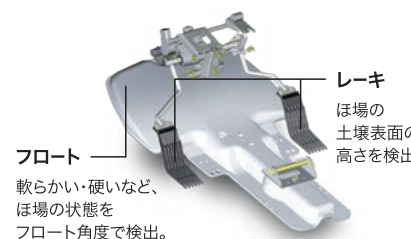
播種・苗運搬時間
最大 **1/3** に
195時間 ▶ 65時間

管理方法は従来とほぼ **同様** で難しい技術は不要

ほ場状態に関わらず熟練の植付けができる

感度アシスト機能

センサー2つで油圧感度と植付け深さを
常に自動調整。きれいに植付けできます。



収穫の自動化で、 誰でも、ロスなく高能率作業 オートコンバイン 有人

自脱型: **YH6115** 115PS[A仕様] | **YH6135** 138PS[A仕様] | **YH7135** 138PS[A仕様]

普通型: **YH1170** 117PS[A仕様]

進化したオート機能で
最短2周目から全領域を
手放して刈取り！



SMARTPILOT

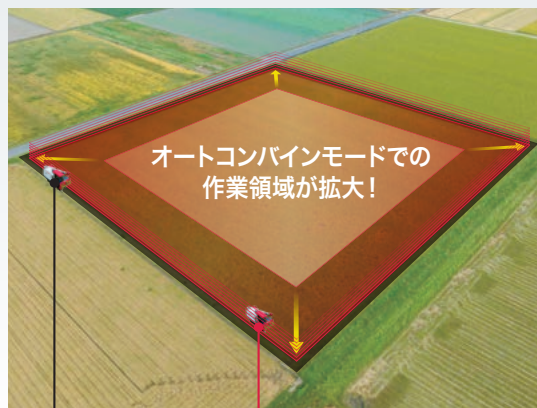


YH6135/A/
7135/Aの
機能解説動画が
ご覧になります。



YH1170/Aの
機能解説動画が
ご覧になります。

■ ほ場の大部分を「手放し」で収穫



オートコンバインモードでの
作業領域が拡大！

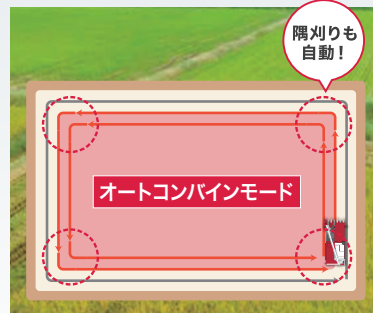
1周目
最初の1周分を手動
走行で刈取りし、ほ
場の外形を登録。

2周目
「オートコンバインモード」
直進・刈取昇降・隅刈り・旋回、
刎排出への移動まで自動化。

■ 複雑なハンドル操作が必要な「隅刈り」も自動で

複雑なハンドル操作が必要
な「隅刈り」も自動で作業で
きます。隅刈りの際の前後進
時の程こぼれ防止や、排わら
回避も自動でできるので、作
業精度が向上します。

※ほ場の形状や刈取方法によっ
ては、手動作業が複数回必要にな
る場合やオートコンバインモード
がご利用いただけない場合があり
ます。



オートコンバインモード

■ 自動刈高さ制御

[YH6135 / YH7135 / YH1170]

ソリが地面との高さを感知し
自動で刈取部を地面に追従さ
せます。



■ 作業に合わせて選べる3つのモード

自動操舵は3つのモードから選択が可能。作業に合わせたオート機能を使用できます。

1 刈取り・旋回が自動、条合わせも 不要な「オートコンバインモード」

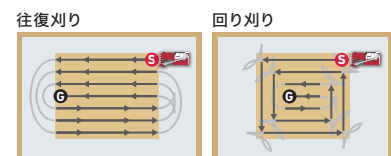
直進・刈取昇降・隅刈り・旋回、刎排出への
移動、中割りの位置決めを自動で行います。

2 ほ場外形に合わせた直進操舵を 自動化できる「枕地直進モード」

ほ場外形の辺に対してそれぞれ平行に自動操舵
を行います。旋回のみ手動操舵が必要です。短辺
が短く、横に長いほ場での作業に便利です。

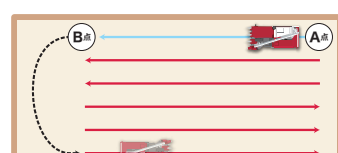
3 設定した基準線に平行して 自動直進できる「直進モード」

A点(開始地点)とB点(終了地点)を設定し
基準線を登録するだけ。変形田でオート経
路が作成できない場合でも直進の自動操
舵が可能です。



往復刈り

回り刈り



自動でまっすぐ、省力化。 操作はラクに、高能率な作業で 疲労軽減！

直進アシストコンバイン

YH1170 117PS 有人



SMARTPILOT

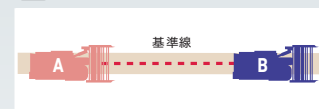


機能解説動画が
ご覧になります。

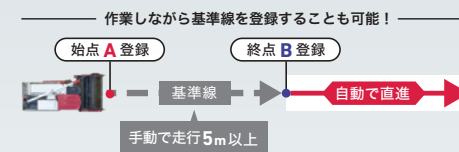
簡単 基準線作成はA点とB点のボタンを押すだけ！

基準線の作り方は2パターン。基準線登録後はAUTOボタンを押せば自動直進開始！旋回時以外のハンドル操作が不要！

1 A点+B点



A点とB点を指定して基準線をつくれます。



作業しながら基準線を登録することも可能！

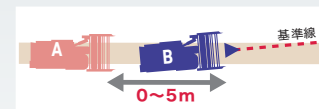
始点A登録 終点B登録

基準線

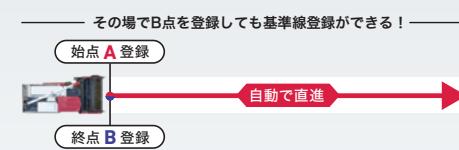
自動で直進

手動で走行5m以上

2 A点~B点(0~5m)+車両方位角



A点~B点間を5m以内に登録するとB点登録時の
コンバインの向きから基準線をつくれます。



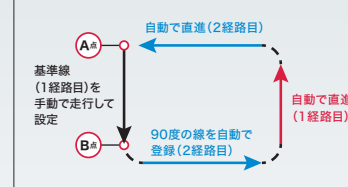
その場でB点を登録しても基準線登録ができる！

始点A登録 終点B登録

自動で直進

さらに2経路登録が可能

1経路目の基準線を登録すると、基準線に対して
90度の線が自動で生成され、2経路目の基準線
として登録されます。



収穫しながら収穫量測定・ データ収集

情報支援機能付コンバイン

YH471A 71PS [I仕様] | **YH571A** 71PS [I仕様] | **YH5101A** 101PS [I仕様]

YH6101 101PS [Y/YM仕様] | **YH6115** 115PS [I/I/M仕様] | **YH6135** 138PS [M仕様]

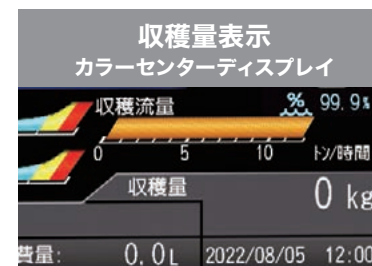
YH7135 138PS [M仕様] | **YH1170** 117PS [YM-KIT, 1170装着時]



収穫量を自動で測定し、ほ場ごとの収穫量を算出 [情報支援機能]

■ 収穫量センサー機能

揚穀投げ口に取り付けた収穫量
センサーがリアルタイムの収穫量
を測定します。収穫量データと収
穫時の位置データを組み合わせ、
農林水産省が提供する農地の区
画情報「筆ポリゴン」が示すほ場
内の収穫量を合計し、ほ場1枚あ
たりの収穫量としてスマートフォ
ンアプリ「MY YANMAR」に表示
します。



■ 収穫量マッピング機能

より短いスパンで収穫量を測定し、メッシュ(網目)
単位で表示。ほ場内の収穫量のバラつきが把握で
き、土づくりや施
肥設計など翌年
のほ場改善に活
かせます。



メッシュ収量は
スマートフォンアプリ
「MY YANMAR」に
表示します。

収穫量センサーおよび収穫量マッピングで測定できる作物

自脱型: 稲 小麦 大麦
普通型: 稲 小麦 大豆

※ 収穫量センサーは衝撃力検出型収穫量測定方式。精度は±5%以内となるように設計していますが、ほ場・作物条件によってこれらの精度から外れる場合があります。

※ 収穫量センサーのセンサーパッドは、250時間ごとを目安に点検し、500時間使用またはパッドの厚みが1mm以下になった時を目安に交換してください。

※ 収穫量マッピング機能はリールヘッダー装着時のみ使用可能です。

AutoTrac Ready 有人

オートトラックレディ仕様
JD-6R / 6Mseries
95PS～250PS



標準精度±15cmのジョンディア純正受信機を装備 自動操舵機能を内蔵した高機能トラクター

自動操舵用油圧バルブを搭載。自動でのハンドル操作による作業が、よりスムーズに行えます。

JD-6Mseries

JD-6M95 / 6M105 / 6M115 / 6M125
95PS 105PS 115PS 125PS

JD-6M130 / 6M140 / 6M150
130PS 140PS 150PS

JD-6M145 / 6M155 / 6M165 / 6M185
145PS 155PS 165PS 185PS

JD-6M180 / 6M200 / 6M220 / 6M240
180PS 200PS 220PS 240PS

JD-6M230 / 6M250
230PS 250PS

JD-6Rseries

JD-6R110 / 6R120 / 6R130 / 6R140 / 6R150
110PS 120PS 130PS 140PS 150PS

JD-6R145 / 6R155 / 6R165 / 6R185
145PS 155PS 165PS 185PS

JD-6R175 / 6R195 / 6R215
175PS 195PS 215PS

JD-6R230 / 6R250
230PS 250PS

オートトラックレディ仕様のメリット

1 初心者でも 熟練者のような 仕上がり	2 集中力を 求められる作業 からの解放	3 ハンドルが 重くならず 解除もラク	4 自動操舵システム を後付けするより 低価格
-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	----------------------------------

作業車への後付けで経路誘導や自動運転を実現 GNSSガイダンスシステム 自動操舵システム



システムの基礎知識

自動操舵システム

作業車にGNSS受信機と自動操舵ハンドル、モニターを取付け、ハンドル操作を自動で制御します。誰でも高精度なハンドル操作で熟練者に近い作業ができ、軽労化、夜間作業のアシストなど日々の作業をサポートします。

ISOBUS作業機連携機能

ISOBUSに対応した作業機と連携して、作業機のモニター機能・セクションコントロール・可変施肥など様々な機能を有したモデルは追加モニター購入の費用削減や資材コスト削減に役立ちます。

ヤンマー補正情報サービス

Y-POINT・

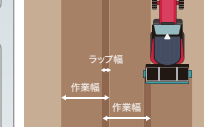
■ ヤンマーの提供するRTKサービス
『Y-POINT・』で作業精度が大きく向上

■ 電波精度／安定度／保守の
信頼性の高い『VRS方式』を採用

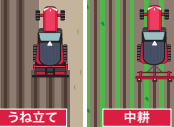
D-GNSS方式
±30cm

RTK方式 (Y-POINT・)
±2～3cm

ラップ幅 (重複) を最小化
= 作業効率向上



高精度作業が可能に
= 作業適応性向上



RTK方式なら±2～3cmの高精度作業が可能。ラップ幅を最小限にして、重複や未耕地を減らし、効率の良い作業が行えます。

■ サービス概要と利用に必要なもの

【お客様にご準備していただくもの】

○=必須／△=利用機器による

- Android (OS Ver 4.0以降) 対応のスマートフォンまたはタブレット ※iOSには対応していません
- インターネット接続
- △Bluetooth端末



Y-POINT・を使用する場合、直進アシストトラクター・直進アシストコンバイン・後付自動操舵はD-GNSS方式からRTK-GNSS方式へアップグレードする必要があります (別売)。

ご利用の流れと要件

- 1 **ご利用申込**
お近くのヤンマー取扱店にてお申込み
- 2 **ID発行**
お申込み後、ご利用IDとパスワードを発行します
- 3 **ご利用期間**
ID提供から1年間です

※IDおよびパスワードは第三者への開示、譲渡、貸与、共有などはできません。
※年間使用料: 60,500円 (税込み)

【ご利用可能エリア】

◎Androidのインターネット接続が可能なエリア。
※ご利用いただけるエリアについては、事前に担当者までご確認ください。

【ご利用に際して】

- ◎サービスの利用に際し、利用規約をお読みいただき、内容をご理解のうえ同意いただく必要があります。
- ◎端末代および端末の通信料はお客様のご負担となります。
- ◎インターネット環境が不安定なエリアでは、本サービスをご利用いただけないことがあります。
- ◎通信環境が不安定な場合は事前にご相談ください。
- ◎その他ご不明な点がございましたら、ヤンマーアグリジャパン (株) までお問い合わせください。

刈取り・乾燥調製作業を効率化・省力化 スマートアシストリモート乾燥機連携ユニット

PHKIT, DRY(2)



乾燥機連携ユニットを乾燥機に装着することで、スマートアシスト^{※1}との連携により乾燥機の稼働状況を見える化。刈取り作業者と乾燥機管理者の間で必要な情報共有が可能になり、また異常やトラブルの早期発見・対応を実現します。

※1 スマートアシストは、ヤンマーのサポートシステムです。

※スマートアシストをご利用いただくには、乾燥機連携ユニットおよびスマートアシストリモート搭載機の購入契約とは別に、「スマートアシストリモート利用申し込み」が必要です。

乾燥機連携ユニットは
様々な乾燥機に対応・簡単連携



VAR/VNRシリーズ
(株)山本製作所

ZHシリーズ
金子農機(株)

TCZシリーズ
静岡製機(株)

草刈の負担を大幅に軽減！ ラジコン草刈機

YW500RC, A (E)

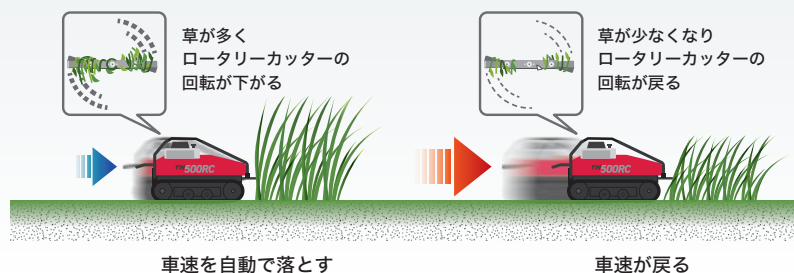
セル(E)仕様
リコイルロープを引かずに、
セルスイッチ操作で
エンジン始動！



傾斜が大きい法面や、低い枝下がある果樹園、太陽光パネル下など、立ち入りにくく作業がしづらい場所も、送信機からの遠隔操作とコンパクトな機体で、効率よく作業ができます。

■ 快速制御

ロータリーカッターへの負荷が大きくなると自動的に車速を落とし、負荷が小さくなると元の速度まで復帰します。



車速を自動で落とす

車速が戻る

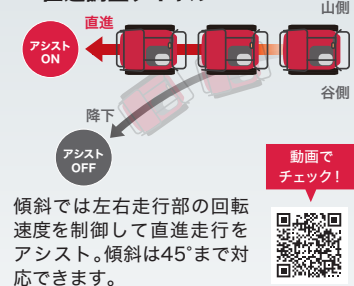
効率の良い走行性と作業性も充実



■ 走行部はモータ駆動のハイブリッド方式

刈取部はエンジン駆動、走行部にはモータ駆動を採用。作業中も充電しているため、エンジン停止後もモータ駆動で走行が可能です。 ※満充電で約10分間の走行が可能です。

■ 直進調整ダイヤル



傾斜では左右走行部の回転速度を制御して直進走行をアシスト。傾斜は45°まで対応できます。



■ 信地旋回



その場での旋回ができるため、方向転換が容易です。



動画で
チェック！



動画で
チェック！



自動でまっすぐ、高精度植付けで 高品質な野菜づくりが可能！ 直進アシスト仕様 乗用全自動野菜移植機 有人



機能解説動画が
ご覧になれます。

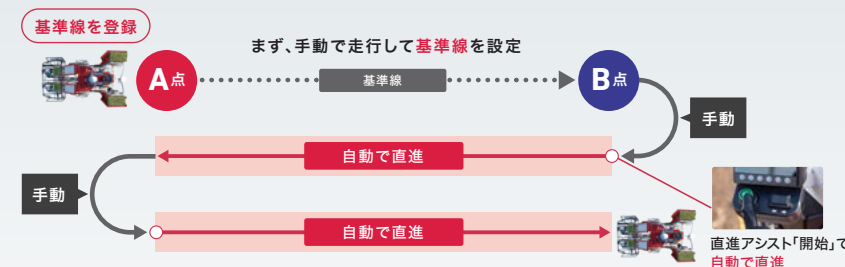
SMARTPILOT

PW200R シリーズ

1畦1条(同時2条)植え・1畦2条植え

直進アシストで効率化と疲労軽減を実現！
最初に基準線を設定すれば、以降、
自動でまっすぐ基準線と平行に植付けが行えます

直進作業を自動で行えるので、長時間の作業でも疲労を軽減。うねのないほ場もまっすぐ植付けすることができ、初心者でも熟練者並みの高精度作業が可能です。



直進アシストトラクターと同一経路の利用で、移植作業がもっとラクに

耕うんまたはうね立て時に、直進アシストトラクターで作業経路を作成。PW200Rで同一経路を利用し、高能率・高精度な移植作業ができます。また、移植作業の方位角をトラクターに入力して、中耕・除草・培土作業に利用することができます。



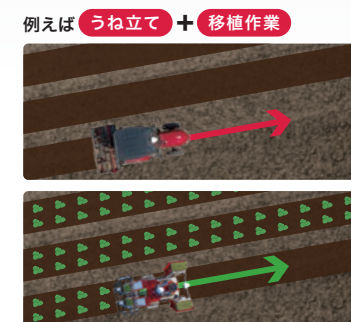
耕うんまたはうね立て時に、直進アシスト作業の経路を作成



トラクターで耕うんまたはうね立てをした方位角をPW200Rに入力して移植作業にも利用



移植作業をしたPW200Rの方位角をトラクターに入力して中耕・除草・培土作業に利用



例えば うね立て + 移植作業

覆土圧の調整もできるから、移植後の活着が良い

植付けと同時に苗の株元を鎮圧。苗をまっすぐ植えるとともに、根鉢と土を密着させることで、活着が良くなり、初期生育の安定が図れます。

■ アルミ製覆土ローラ

覆土ローラにカバーを装着。内部に土がたまらず、安定した覆土が継続できます。また、ローラの間隔は土壌条件に応じ3段階に調節できます。



土離れが良く優れた耐久性

■ 覆土圧調整レバー

従来通りの機体後方のレバーに加え、運転席側にもレバーを設け、機体から降りずに覆土圧調整をすることも可能となり、操作性が向上します。



運転席でも調整可能

優れた散布性能で防除作業の時間と労力を軽減 農薬散布用ドローン (産業用マルチローター)



機能解説動画が
ご覧になれます。

中山間地農業から
大規模農業まで幅広く対応

T10

薬剤タンク
最大搭載量
8L

散布幅
4~6m*

1フライト
最大散布面積目安
約1ha*

コンパクトに折りたたため格納・運搬時も場所
いらず。しかも軽量なので持ち運びや積み下ろ
し作業もラク。はじめての方でも快適で効率の
良い散布作業が行えます。



安全性と汎用性がさらに向上、
散布作業をより快適に

T25P

薬剤タンク
最大搭載量
20L

散布幅
4~7m*

1フライト
最大散布面積目安
約2ha*

1回のフライト時間が最大15分と長時間飛行
を実現。また、最大散布幅7.0m、1フライト最
大2haの散布が可能になり、あらゆる作物に対
応したプロ向けの散布作業をサポートします。



※ ほ場の形状、作業条件などにより散布効率は異なります。

あらゆる作物の散布作業に
おすすめのオールラウンダー

T25

薬剤タンク
最大搭載量
20L

散布幅
4~7.5m*

1フライト
最大散布面積目安
約2ha*

進化した多方向障害物探知で作業の安全性が
向上。水稻、麦、大豆、野菜、果物などすべての作
物にも対応したプロ向けの散布作業をサポート
します。



もっとと高能率に、高精度に！
さらなる大容量散布を可能にした最上位モデル

T70P

薬剤タンク
最大搭載量
70L

散布幅
4~11m*

1フライト
最大散布面積目安
約2.5ha*

これまでの散布用ドローンで培われてきた精度
と使いやすさを踏まえ、より広い面積を少ない作
業回数でこなすための性能を磨き上げたT70P。
液剤70L・粒剤70kg(オプション)の大容量タン
クが、散布の効率を大きく引き上げます。



スマホでかんたんに環境管理！ ほ場・ハウス管理省力化システム

水田ファーム

水位センサー



給水ゲート



給水バルブ



水回りしにくい場所や離れた田んぼの水位が、
スマホでわかり、毎日の水回りを省力化してくれ
ます。給水ゲートや給水バルブを設置することで
田んぼに行かずに、スマホで給水も可能です。

ハウスファーム



センサーを設置するだけで、
スマホでいつでもハウスの状
態がわかり、最適なハウス環
境管理が行えます。

farmo



他にも様々な管理システムをラインアップし
ています。

露地ファーム



気象センサー



フィールドショット



アクアファーム



SA
SMARTASSIST

営農支援サービスと連携
agri-note.
アグリノート株式会社

ICTの力で、万全サポート スマートアシストリモート



スマートアシストの
詳細がご覧に
なれます。



MY YANMARの
詳細がご覧に
なれます。

スマートアシストリモートは、ヤンマーの提供するICTを活用したサービスです。
GPSアンテナおよび通信端末を搭載した農業機械から発信される稼働状況やコンディションの
情報をもとに、機械トラブルの早期発見や盗難抑止に貢献します。

■ 機械の見守り

お客様の大切な機械をリモートサポートセンターで、24時間365日体制で見守ります。
機械の異常発生時は、機械が自動でヤンマーに連絡。異常個所の診断や部品の手配などをスムーズに行い、
ダウンタイムを軽減します。

エラー情報
通知サービス

機械のダウンタイムを
大幅に削減

盗難抑止
見守りサービス

万一の盗難にも
素早く対応

稼働診断
保守サービス

稼働効率の向上やランニング
コストの低減をご提案

■ 機械情報・機械作業の見える化

機械の位置情報や燃料残量、稼働軌跡や
作業したほ場をスマートフォンアプリ
「MY YANMAR」で見ることができます。

MY MY YANMAR
ヤンマーをより身近に、
スマート農機を手のひらに



スマートアシストリモート搭載機の“今”を見るだけでなく、機械で
作業をするだけで、ほ場や収量、方位角が自動で記録され、“過去”
を振り返ることができます。さらに、スマート農機とのデータ連携
により、可変施肥など“未来”の指示もアプリで可能になります。

アプリの
ダウンロードは
こちらから

App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう



※MY YANMARのご利用にはスマートアシストリモートへの契約が必要です。

2021年4月以降に改定された利用約款を用いたスマートアシストリモートに関わる契約は、2020年3月に策定さ
れた農林水産省「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」に準拠しています。
(「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」の詳細は、農林水産省ホームページをご参照ください。)

【スマート農機】
スマートアシストリモート
搭載機一覧がご覧になれます。

